# Frohe Weihnachten! Merry Xmas!

## 獨協クリスマス通信

発行：嶋田真美
(社会科)

クリスマスが近づいてきました！今や世界中でお祝いの日となっていますが、各地でのお祝いの仕方は様々です。獨協にいる皆さんには、ドイツ🇩🇪のクリスマスの文化を少しだけご紹介します！

## クリスマスはイエス・キリストの誕生日ではない！？

クリスマスのお祝いはイエス・キリストの誕生日を祝うお祭りだと聞いたことのある人が多いと思います。しかし、354年までイエスの誕生日が記録されたことはなく、ローマ帝国の**太陽神の復活のお祝い**が冬至の頃に行われていたことや、北欧の民族が行っていた**冬至祭**にあわせて12月25日になったという説があります。(冬至の日から徐々に日が長くなるため、豊かな春を迎えるお祝いをしていました。)キリスト教がまだ広まっていなかったころ、もともとあったお祭りを取り込むことで人々に親しみやすくしていたようです。

## ドイツのおなじみ、クリスマスマーケットとは！？

ドイツではクリスマスが近づくと、街の広場で**クリスマスマーケット**が開かれます。クリスマスマーケットはいまや世界中でおなじみのイベントになっていますが、**その発祥は中世ドイツ**でした。街を治める王が、クリスマスのお祝いに欠かせないお肉(当時は非常に高価！)を自由に売る市場の開催を、クリスマス前に１日だけ認めたことが始まりになっているそうです。

現在のクリスマスマーケットは、クリスマスの１か月くらい前から毎日様々な屋台が開かれます。子どもたちはそこでお菓子や木のおもちゃを買ってもらったり、移動式の遊園地で遊んだり、**クリスマス前の特別な時間を過ごします**。大人たちはドイツならではのソーセージやホットワイン(クリスマス向けの甘いものをグリューワインと言います)を楽しみ、**街中の人が楽しめるイベント**となっています。

↑食べ物からプレゼントまでいろいろ売っています

↑森林の多いドイツの伝統的な木のおもちゃ

→移動式遊園地が来ることも！

## 東京クリスマスマーケットに参加してきました！

### 東京クリスマスマーケットとは！？

2015年から**日比谷公園**にて開催されているクリスマスマーケット。ドイツ・ザイフェン村からやってきた高さ14mの「**クリスマスピラミッド**」をシンボルとし、ヨーロッパ風のクリスマスオーナメントなどの店舗が並び、本場の雰囲気が味わえる。

**←これがクリスマス・ピラミッド！**

ドイツのエルツ山地付近の民族が使用していた「ろうそく立て」であり、今ではポピュラーなクリスマスデコレーションです。

**↑様々な屋台が並び、クリスマスグッズを購入できます！本場ドイツからの輸入品も！**

先生たちも、今回は残念ながら参加できなかった先生や、校長先生にお土産を購入しました！その１つは古池先生のデスクの横に…！

**↓ドイツ名物のソーセージも！**

中世ドイツの肉市が発祥であるとされるクリスマスマーケット。本場でもお肉はマーケットに欠かせないものの１つです！

日本にいながら、本場のクリスマスマーケットの雰囲気を味わえる貴重な機会です！興味のある人はぜひ足を運んでみてください！

※今年は基本事前予約が必要なので要注意！